



Professional Institute of International Fashion
Symposium

The World of Indian Fashion

インドファッションの世界
素材から考える装い

2019年7月13日(土)
13:30~17:30 (13:00受付開始)

参加費:無料 定員:400名

場所:国際ファッション専門職大学名古屋キャンパス マルチホール
主催:国際ファッション専門職大学 共催:南アジア地域研究 国立民族学博物館拠点(MINDAS)

○講師

 渡辺 和之 国際ファッション専門職大学 教授	 遠藤 仁 秋田大学国際資源学研究所 客員研究員 / 人間文化研究 機構研究員	 竹田 晋也 京都大学大学院アジア・ア フリカ地域研究研究科教授
---	--	--

○コメンテーター
上羽 陽子
(国立民族学博物館 人類学誌研究部 准教授)
富澤 修身
(国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部 教授)
野田 隆弘
(公益財団法人一宮地場産業ファッションデザ
インセンター)

ファッション
生産者
デザイナー

眼の先へ。

国際ファッション専門職大学
名古屋キャンパス

【シンポジウム受付】 TEL052-551-0008 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-1 www.pif.ac.jp

【特集】 シンポジウム

インド・ファッションの世界

素材から考える装い

国際ファッション専門職大学は、2019年7月13日(土)にシンポジウム「インド・ファッションの世界——素材から考える装い」を開催した。主催は、国際ファッション専門職大学、共催は南アジア地域研究国立民族学博物館拠点(MINDAS)である。本シンポジウムの企画者は、本学教員の田中雅一、金谷美和、安念真衣子の3氏である。会場は、名古屋キャンパスのマルチホールであった。シンポジウムの参加者は、学生(国際ファッション専門職大学名古屋ファッションクリエイション・ビジネス学科学生、モード学園名古屋校生徒、高校生)が209人、南アジア研究関係者が40人、一般参加者が27人の計276人であった。

このシンポジウムは、ファッションを素材という観点から考えることを目的とした。素材の生産者や生産地での実地の調査に携わってきた研究者を招聘し、これまで消費者には見えてこなかった素材とその生産に関わる人びと、およびその素材が生じる地域、環境の関係を検討した。

発表者は、渡辺和之氏(阪南大学国際観光学部准教授)、遠藤仁氏(秋田大学国際資源学研究科客員研究員/人間文化研究機構研究員)、竹田晋也氏(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授)の3氏で、コメンテータは上羽陽子氏(国立民族学博物館人類文明誌研究部准教授)、富澤修身氏(本学教授)、野田隆弘氏(公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター)であった。司会は安念真衣子が、総合討論の司会は金谷美和が務めた。

本誌特集では、シンポジウムの発表とコメント、総合討論の内容を採録する。

